

令和 3 年度

事務事業評価表（ 令和 2 年度 の実績評価）

記入年月日
令和 3 年 4 月 15 日

事務事業名		いばらきっ子郷土検定事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020303000650
						単独/補助	単独	所属課	090601 生涯学習課
政 策 体 系	総合計画の施策名	0203 青少年の健全育成						課長名	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	生涯学習G
	施策名	03 青少年の健全育成						担当者名	
	手段名	03 ③地域教育力の充実							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し（年度～）
	01	10	05	06	01	00	生涯学習推進事業		← 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 民間シンクタンクによる調査で、茨城県の魅力度が全国最下位という結果を受け、「楽しみながら茨城県の伝統や文化等を学ぶことができるよう、平成25年度より茨城県独自の郷土検定を実施し、「子どもたちの郷土への愛着や誇りを育む」ことを目的として、県内の全中学2年生を対象に行っている。生涯学習課担当者と学校教育主管課担当（桜川市では教育指導課）で連携して事業実施にあたっている。 【主な内容】 ○桜川市問題の作成 ○桜川市大会の実施 ○県大会への随行（市バスの手配も行う）
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ○桜川市大会実施に際しての桜川市問題作成 6～7月 ○市内中学校への事業周知・協力依頼 5月 ○桜川市大会実施事務（日程調整・中学校への問題配付・取りまとめ）11月 ○県大会出場事務（県大会出場校報告・出場校との連絡調整・大会随行）1～2月 ○市広報への記事掲載 2月

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
○市町村担当者会議への出席 ○桜川市大会実施に際しての桜川市問題作成 ○市内中学校への事業周知、協力依頼 ○ゆるキャラ参加要請 ○桜川市大会実施事務 ○県大会出場事務	検定実施回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市内中学2年生（義務教育学校8年生含む）	市内中学2年生（義務教育学校8年生）生徒数	人	314.00	356.00	323.00	327.00	321.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
子どもたちの郷土への愛着や誇りを育むきっかけをつくる	これからも桜川市に住みたいと思う生徒の割合	%	45.00	60.00	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

投 入 量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
			（実績）	（実績）	（計画）	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	6	4	9	0
	事業費計（A）	千円	6	4	9	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事 業 費 の 内 訳	02年度事業費 実績（千円）		03年度事業費 予算（千円）	
	11 役務費	4		11 役務費
	合 計	4	合 計	9

事務事業名	いばらきっ子郷土検定事業	事務事業No.	20303000650	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
民間シンクタンクによる調査で、茨城県の魅力度が全国最下位という結果を受け、「楽しみながら茨城県の伝統や文化等を学ぶことができるよう、平成25年度より茨城県独自の郷土検定を実施し、子どもたちの郷土への愛着や誇りを育む」ことを目的として、県内の全中学2年生を対象に行っている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
県大会に出場した代表生徒からは、自分たちの住む地域や茨城県のことを知るいい機会となったと好評である。 県大会出場に際し、代表生徒の選出について学校行事や部活動の調整などで苦慮するとの意見がある。 桜川市は県大会に同伴するゆるキャラがないので盛り上がり欠けるという意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 青少年(中学2年生)を対象としているため、3-(3)-①青少年活動の充実につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県事業として実施されており、かつ事業の目的が若い世代に自身の住む地域のことを知ってもらい、郷土に関する関心を高めってもらう事であるため、市として関与することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 市町村大会及び県大会の問題を県が行うこととなったため
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県主催事業のため、市で廃止及び休止することはできない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業がないため
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 社会教育主管課(桜川市では生涯学習課)、学校教育主管課(桜川市では教育指導課)でそれぞれ1名ずつで担当しており、これ以上の人員削減は見込めない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 県による対象者設定(中学2年生・義務教育学校8年生)があり、その中で市内の全中学校・義務教育学校が市大会に参加しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・市町村大会の問題が県統一の問題となったため、生徒の負担が大きくなった。 ・県大会が中止となり、オンラインでの交流会として行われたが、順位などがつかなかったり、他校との交流が限られていたりして、物足りなさを感じた。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○				X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	⑦																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	